

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(市町総括表)
【単独・連携事業】

市町名	益子町
-----	-----

(単位:円)

No.	単位事業名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	合計
1	おもてなし補助金事業 (陶器市巡回バス運行)	総事業費		800,000	800,000	800,000	800,000	3,200,000
		うち市町支出額		300,000	300,000	300,000	300,000	1,200,000
		うち県交付金		150,000	150,000	150,000	0	450,000
2	おもてなし補助金事業 (益子夜市&里帰りウィーク)	総事業費		660,000	660,000	660,000	660,000	2,640,000
		うち市町支出額		300,000	300,000	300,000	300,000	1,200,000
		うち県交付金		150,000	150,000	150,000	0	450,000
3	おもてなし補助金事業 (益子さんぼ市)	総事業費		1,550,000	1,550,000	1,550,000	1,550,000	6,200,000
		うち市町支出額		300,000	300,000	300,000	300,000	1,200,000
		うち県交付金		150,000	150,000	150,000	0	450,000
4	おもてなし補助金事業 (益子の新そば祭り)	総事業費		476,000	476,000	476,000	476,000	1,904,000
		うち市町支出額		300,000	300,000	300,000	300,000	1,200,000
		うち県交付金		150,000	150,000	150,000	0	450,000
5	おもてなし補助金事業 (トレラン益子)	総事業費		650,000	650,000	650,000	650,000	2,600,000
		うち市町支出額		200,000	300,000	300,000	300,000	1,100,000
		うち県交付金		100,000	150,000	150,000	0	400,000
6	おもてなし補助金事業 (ポターリングましこ)	総事業費	3,053,500	1,795,000	1,795,000	1,795,000	1,795,000	10,233,500
		うち市町支出額	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	1,500,000
		うち県交付金	150,000	150,000	150,000	0	0	450,000
7	おもてなし補助金事業 (益子の雛めぐり)	総事業費		909,000	909,000	909,000	909,000	3,636,000
		うち市町支出額		300,000	300,000	300,000	300,000	1,200,000
		うち県交付金		150,000	150,000	150,000	150,000	600,000
8	益子町地域通貨運営事業	総事業費	1,841,090	1,071,000	1,071,000	1,071,000	1,071,000	6,125,090
		うち市町支出額	1,841,090	1,071,000	1,071,000	1,071,000	1,071,000	6,125,090
		うち県交付金	916,043	510,999	510,999	0	0	1,938,041
9		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
10		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
市町計		総事業費	4,894,590	7,911,000	7,911,000	7,911,000	7,911,000	36,538,590
		うち市町支出額	2,141,090	3,071,000	3,171,000	3,171,000	3,171,000	14,725,090
		うち県交付金	1,066,043	1,510,999	1,560,999	900,000	150,000	5,188,041

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	益子町
事業名	おもてなし補助金事業(陶器市巡回バス運行)
事業主体の名称	陶器市実行委員会
代表者の名称	委員長 外池茂樹
事業主体の所在	栃木県芳賀郡益子町大字益子159-2
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> 団体の目的:陶器市の企画立案及び運営を行うこと 設立年月日:昭和42年 構成員等:地域住民16名
当該事業に係る地域の現状と課題	観光入込数については平成22年までは一貫して増加(H22年196万人)してきたが、東日本大震災のあった平成23年に大きく減少(158万人)して以降は、横ばい傾向となっている(H24年197万人、H25年189万人、H26年186万人、H27年196万人)。また、宿泊者数についても低調な伸び(H27年2.1万人)となっており、更なる誘客強化や滞在時間の延伸を図ることが課題となっている。一方で陶器市には春と秋を合わせて約60万人の人が集中して訪れ、交通渋滞の問題が出ている。
事業目的	周辺道路の渋滞を緩和するとともに観光客の移動を円滑化し、観光客の町内回遊と消費拡大を図る。
事業概要	<p>【H29年度】 陶器市会場巡回バスを運行することにより、観光客の回遊性の向上、町の更なる活性化に繋げるとともに、観光客の誘致を図る。効果を高めるために、HPやSNSでの情報発信を行う。 運行概要 運航日:陶器市期間中の祭休日 1日21便 益子駅西臨時駐車場—益子駅—鹿島神社—城内坂バス停—陶芸メッセ入口—つかもと広場—つかもと広場—陶芸メッセ入口—城内坂バス停—益子町役場—益子駅西臨時駐車場</p> <p>【H30年度の取組】 前年度の利用状況等を踏まえ、引き続き陶器市と連携して来訪者のニーズに合った巡回バスを運行する予定。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標】風土に根ざした産業をつくる 【KPI】観光客入込数 185万人(H26)→240万人(H31) 【実績値】186万人(H27)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	H29年度	H30年度	H31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	陶器市会場巡回バスの運行	陶器市会場巡回バスの運行	陶器市会場巡回バスの運行		陶器市会場巡回バスの運行
事業費	800,000	800,000	800,000	2,400,000	800,000
市町支出金 (ソフト事業分)	300,000	300,000	300,000	900,000	300,000
うち県交付金	150,000	150,000	150,000	450,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	500,000	500,000	500,000	1,500,000	500,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	観光商工課 タウン・プロモーション係
担当者名	菅山幸恵
連絡先	電話 0285-72-8846
	FAX 0285-70-1180
	E-mail kankou@town.mashiko.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	益子町
事業名	おもてなし補助金事業(益子夜市&里帰りウィーク)
事業主体の名称	益子夜市&里帰りウィーク実行委員会
代表者の名称	委員長 外池茂樹
事業主体の所在	栃木県芳賀郡益子町大字益子159-2
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> 団体の目的:夏場・夜間の集客、ジャンルを超えたおもてなしの提供 設立年月日:平成25年 構成員等:地域住民13名
当該事業に係る地域の現状と課題	近年、陶磁器の需要は減少しており、基幹産業である益子焼のH25年の販売額は32億円で、H10年の95億円の約1/3に減少している。また、夏場・夜間の集客が弱く、売り上げが落ちている。このような状況下で、城内坂の焼き物店で夜間の営業と歩行者天国にしての町内の飲食店、農家等ジャンルを超えた催しを実施することで益子焼の消費拡大のきっかけを創出することが必要である。
事業目的	夏場・夜間に陶器やクラフトに限らずジャンルを超えたおもてなしを提供することにより、幅広い層に向けて誘客強化と滞在時間の延伸を図るとともに、町内内部での連携強化を実現する。
事業概要	<p>【H29年度】</p> <p>城内坂を歩行者天国にし、演奏や町内各団体による企画イベントを行い、来場者をおもてなしする。幅広い層に向けて周知する為にポスターチラシ作成し、関係者の店舗、高速バス、県内道の駅等に設置。夜の安全確保のための照明、保険、看板設置、警備員配置を実施する。 実施時間:18:00~21:30 実施内容: ましこ音楽祭:益子にゆかりのあるアーティストによるストリートライブ マルシェ:飲食店、農園、商工会、祭若組等による飲食の提供、益子焼や灯りなどの雑貨の展示販売 浴衣着付けサービス ラジオ放送 役場職員ボランティアによるゲーム催事や受付案内</p> <p>【H30年度】前年度の集客状況等を踏まえ、宿泊客増大、滞在時間の延長、リピーターの増大のためにおもてなしを向上させたイベント等を実施する予定。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標】風土に根ざした産業をつくる</p> <p>【KPI】観光客入込数 185万人(H26)→240万人(H31)</p> <p>【実績値】186万人(H27)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	H29年度	H30年度	H31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	城内坂を歩行者天国にし、演奏や町内各団体による企画イベントを行う	城内坂を歩行者天国にし、演奏や町内各団体による企画イベントを行う	城内坂を歩行者天国にし、演奏や町内各団体による企画イベントを行う		城内坂を歩行者天国にし、演奏や町内各団体による企画イベントを行う
事業費	660,000	660,000	660,000	1,980,000	660,000
市町支出金 (ソフト事業分)	300,000	300,000	300,000	900,000	300,000
うち県交付金	150,000	150,000	150,000	450,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	360,000	360,000	360,000	1,080,000	360,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	観光商工課 タウンロモーション係
担当者名	菅山幸恵
電話	0285-72-8846
FAX	0285-70-1180
E-mail	kankou@town.mashiko.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	益子町
事業名	おもてなし補助金事業(益子さんぼ市)
事業主体の名称	益子さんぼ市実行委員会
代表者の名称	委員長 井上敏一
事業主体の所在	栃木県芳賀郡益子町大字益子159-2
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> 団体の目的:手仕事の町益子をアピールするために様々な種類のクラフト作家による出展を行う 設立年月日:平成20年 構成員等:地域住民11名
当該事業に係る地域の現状と課題	益子町は古くから益子焼をはじめとする手仕事の町として発展してきた。しかし近年、陶磁器の需要は減少しており、基幹産業である益子焼のH25年の販売額は32億円で、H10年の95億円の約1/3に減少している。このような状況下で、観光消費の拡大や雇用の創出を図るためには、益子焼に限らず様々なクラフトのイベントを実施することでそれらを町外へのPRすることが必要である。
事業目的	手仕事の町益子を町外にアピールし、若者を中心とした更なる交流人口の増加を図るとともに、陶芸・クラフト等の地域文化やライフスタイルを提案することにより、町へのUJターンや起業を促進する。
事業概要	<p>【H29年度】 実施時期:9月16～18日 10:00～16:30 場所:陶芸メッセ大駐車場及び共販センター北駐車場 さまざまな種類のクラフト作家による出展(布、木工、革、金工、陶、アクセサリー等のクラフト作家の展示、販売、実演)を行い、作家の応援、モノの楽しさの共有、モノを通して人と人との出会いの場の提供を行う。また、会場周辺で飲食ブースや演奏などのイベントを行い回遊させる。クラフトに興味がある層にHPで情報発信し、PRする。</p> <p>【H30年度】 前年度の集客状況等を踏まえ、引き続きクラフト作家等と協働で様々なイベントを開催する予定。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標】風土に根ざした産業をつくる</p> <p>【KPI】観光客入込数 185万人(H26)→240万人(H31)</p> <p>【実績値】186万人(H27)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	H29年度	H30年度	H31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	クラフト作家による出店 と飲食ブース、音楽ライ ブ	クラフト作家による出店 と飲食ブース、音楽ライ ブ	クラフト作家による出店 と飲食ブース、音楽ライ ブ		クラフト作家による出店 と飲食ブース、音楽ライ ブ
事業費	1,550,211	1,550,000	1,550,000	4,650,211	1,550,000
市町支出金 (ソフト事業分)	300,000	300,000	300,000	900,000	300,000
うち県交付金	150,000	150,000	150,000	450,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	1,250,211	1,250,000	1,250,000	3,750,211	1,250,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	観光商工課 タウンプロモーション係
担当者名	菅山幸恵
電話	0285-72-8846
FAX	0285-70-1180
E-mail	kankou@town.mamshiko.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市 町 名	益子町
事 業 名	おもてなし補助金事業(益子の新そば祭り)
事業主体の名称	益子の新そば祭り実行委員会
代表者の名称	会長 外池茂樹
事業主体の所在	栃木県芳賀郡益子町大字益子159-2
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的: 益子産そばの周知、普及を図り、生産の拡大と観光誘客 ・設立年月日: 平成18年 ・構成員等: 地域住民16名
当該事業に係る地域の現状と課題	地域ブランド調査2016では、益子焼きの認知度は高い総合順位を前年(459位)から377位と上げたものの、観光地でありながら低位であり、町について深く認知されていないのが現状である。益子町はそばの生産が盛んでそば店も多い。観光消費の拡大や雇用の創出を図るためには、そういった資源を磨きあげ、PRすることが必要である。
事業目的	益子産そばの周知・普及を図り、益子焼だけでない益子の魅力、ブランド力を向上させ、観光誘客をはかる。益子焼の販売店とコラボした新そばめぐりのイベントを行うことで町内を回遊し益子焼の消費拡大を促す。
事業概要	<p>【H29年度】 周知のためののぼり旗設置、チラシポスターの製作関係店舗に設置するほか、観光キャンペーンで配布。広告掲載(下野新聞・真岡新聞)し、幅広い層に周知する。新そばめぐりキャンペーン(抽選)の実施。 実施時期: 11月～12月 実施内容: 抽選会(1,000円食事するごとに1回抽選ができる) 抽選会の景品を食事券や益子焼販売店の割引券にすることで再来や益子焼の消費拡大につなげる。</p> <p>【H30年度】前年度の集客状況等を踏まえ、引き続き益子焼販売店等と連携してイベント等を開催する予定。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標】風土に根ざした産業をつくる 【KPI】観光客入込数 185万人(H26)→240万人(H31) 【実績値】186万人(H27)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	H29年度	H30年度	H31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	新そばめぐりキャンペーン(抽選)の実施。	新そばめぐりキャンペーン(抽選)の実施。	新そばめぐりキャンペーン(抽選)の実施。		新そばめぐりキャンペーン(抽選)の実施。
事業費	476,000	476,000	476,000	1,428,000	476,000
市町支出金 (ソフト事業分)	300,000	300,000	300,000	900,000	300,000
うち県交付金	150,000	150,000	150,000	450,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	176,000	176,000	176,000	528,000	176,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	観光商工課 タウンプロモーション係
担当者名	菅山幸恵
電話	0285-72-8846
FAX	0285-70-1180
E-mail	kankou@town.mashiko.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	益子町
事業名	おもてなし補助金事業(トレラン益子)
事業主体の名称	益子いくべ会
代表者の名称	会長 石田弘
事業主体の所在	栃木県芳賀郡益子町大字益子2842
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:雨巻山の登山道の整備と登山愛好 ・設立年月日:昭和60年 ・構成員等:地域住民14名
当該事業に係る地域の現状と課題	観光入込数については平成22年までは一貫して増加(H22年196万人)してきたが、東日本大震災のあった平成23年に大きく減少(158万人)して以降は、横ばい傾向となっている(H24年197万人、H25年189万人、H26年186万人、H27年196万人)。また、宿泊者数についても低調な伸び(H27年2.1万人)となっており、更なる誘客強化や滞在時間の延伸を図ることが課題となっている。益子町には、初心者から上級者まで楽しむことができ、植生豊かな雨巻山があり、そういった観光資源を活用することや幅広い層にPRすることが必要である。
事業目的	雨巻山やその周辺の里山を駆けることにより、豊かな自然をより多くの人と共有し、かつ益子町の地域活性化を図ることを目的としている。新たな体験型観光の資源として雨巻山を活かし、交流人口の増加と滞在時間の延伸を図る。
事業概要	<p>【H29年度】 トレイルランニング大会 場所:雨巻山及び周辺地域 参加予定人数:200人 実施日:12月第1土曜日から第2土曜日の1回 実施内容: 山の愛好家と地元自治会が連携を組み、手づくりで雨巻山を走る大会を催す。 地元自治会による地元食材の軽食でランナーをもてなす。 サポートランナーを点々と配置することで山の素晴らしさを伝えつつふれあい機会を設ける。</p> <p>【H30年度】前年度の開催状況等を踏まえ、参加者のおもてなしの充実を図り、引き続き大会を開催する予定。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標】風土に根ざした産業をつくる 【KPI】観光客入込数 185万人(H26)→240万人(H31) 【実績値】186万人(H27)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	H29年度	H30年度	H31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	トレイルランニング大会の実施。	トレイルランニング大会の実施。	トレイルランニング大会の実施。		トレイルランニング大会の実施。
事業費	640,700	650,000	650,000	1,940,700	650,000
市町支出金 (ソフト事業分)	200,000	300,000	300,000	800,000	300,000
うち県交付金	100,000	150,000	150,000	400,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	440,700	350,000	350,000	1,140,700	350,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	観光商工課 タウンロケーション係
担当者名	菅山幸恵
電話	0285-72-8846
FAX	0285-70-1180
E-mail	kankou@town.mashiko.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	益子町
事業名	おもてなし補助金事業(ポターリングましこ)
事業主体の名称	ポターリングましこ実行委員会
代表者の名称	実行委員長 外池茂樹
事業主体の所在	栃木県芳賀郡益子町大字益子159-2
事業主体の概要	団体の目的:ポターリングましこの企画立案及び運営を行うこと 設立年月日:平成25年10月16日 構成員:益子町観光協会、商工会、やきもの販売店組合、役場、 主な活動:ポターリングイベントをはじめとした、自転車による地域活性化。平成25年に第1回実施(参加者350名) 協力:チューリングましこ(サイクルチーム)、悠楽塾(益子町民大学の修了生のグループ)、観光ボランティアガイドましこ、ましこサポーターズクラブ(ましこファンクラブ)、ましこのマルシェ
当該事業に係る地域の現状と課題	・栃木県には、宇都宮ブリッツェンと那須ブラーゼンが本拠地を置いており、多くの市町において、自転車を活用したイベントが開催されるなど、地域活性化と自転車を結びつける動きが増えてきている。 ・2つのプロチームがあることによって一部で盛り上がりは見せているものの、地域の元気を生み出す要因としての自転車は住民に決して広く認知されてはいない状況にある。 ・人口減少が進む益子町では、その影響を緩和し、地域の活力を創出するため、交流人口の増加や移住者の増加など、新たな「ひとの流れ」をつくる必要があるが、両市町の魅力を十分に活かす取組(情報発信、受け入れ環境の整備等)が不十分なことが課題となっている。
事業目的	益子の魅力である里山、中世の文化財、カフェ等にゆっくりと自転車で走ることによって体感していただき、さらなる自転車ライダーの誘客を図るため。
事業概要	【H29年度】 ポターリングましこの開催(自転車散策) 場所:益子町内 参加予定人数:500人 実施日:12月第1日曜日から第2日曜日の1回 実施内容: 自転車でゆっくり走るポターリングを陶器の町ということで「ポターリングましこ」として実施。エイドではハンや果樹などの益子の特産品をふるまい、ランチ券で町内にあるカフェに誘導する。ゲストライダーで盛り上げ、地元自転車チームがサポートライダーとして安全面を確保。新しい益子の風景や風土の発見ができるとともに、エイドステーションでは益子の特産品を用意しPR。ランチチケットや地域通貨は参加者の新しい店舗開拓とその後の店舗の顧客獲得につなげる。 【H30年度】前年度の開催状況等を踏まえ、新たなコースや見どころを参加者に知っていただけるよう町内を知る努力をし、またおもてなしの充実を図り、引き続き大会を開催する予定。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【基本目標】風土に根ざした産業をつくる 【KPI】観光客入込数 185万人(H26)→240万人(H31) 【実績値】186万人(H27)

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	H28年度	H29年度	H30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	ポターリングましこの実施	ポターリングましこの実施	ポターリングましこの実施		ポターリングましこの実施
事業費	3,053,500	1,795,000	1,795,000	6,643,500	1,795,000
市町支出金 (ソフト事業分)	300,000	300,000	300,000	900,000	300,000
うち県交付金	150,000	150,000	150,000	450,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	2,753,500	1,495,000	1,495,000	5,743,500	1,495,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	観光商工課 タウンプロモーション係
担当者名	菅山幸恵
電話	0285-72-8846
連絡先 FAX	0285-70-1180
E-mail	kankou@town.mashiko.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	益子町
事業名	おもてなし補助金事業(益子の雛めぐり)
事業主体の名称	益子の雛めぐり実行委員会
代表者の名称	委員長 塚本ゆ美子
事業主体の所在	栃木県芳賀郡益子町大字益子1539-2
事業主体の概要	団体の目的: 益子の雛めぐりの企画立案及び運営を行うこと 設立年月日: 平成21年 構成員: 地域住民19名
当該事業に係る地域の現状と課題	ギャラリーやショップが1km以上もある城内坂。益子焼をはじめとする手仕事文化として発展してきた。一方で近年、陶磁器の需要は減少しており、基幹産業である益子焼のH25年の販売額は32億円で、H10年の95億円の約1/3に減少している。このような状況下で、観光消費の拡大や雇用の創出を図るためには、中世の文化財をはじめとする古い建物が多く、着物が似合う町であるような益子焼以外の地域資源の磨き上げやそれらの町外へのPRが必要である。
事業目的	益子ならではの陶雛、土雛、吊るし雛などを展示販売し、観光客を誘致する。また、各会場が連携して事業を実施し、おもてなしするとともにクイズラリーにより観光客が各会場を回遊することにより、誘客強化と滞在時間の延伸を図るとともに、通年型のにぎわう観光まちづくりを実現する。
事業概要	【H29年度】 実施期間: 2月上旬～3月上旬 実施内容: オープニングイベント「陶の郷 益子de 雛コレクションVOL.2」…着物ファッションショー 「吊るし雛」「雛段飾り」の展示 折り紙でつくる「吊るし雛」の展示 「益子焼で祝う雛祭り」の開催: 陶雛と雛祭りの器、和装小物を陶芸メッセ益子ミニギャラリーに展示。 「雛作品」の展示 ワークショップの開催: 陶板ubusuna吊るし雛、木目込み糺、土雛着付け、ふくろうストラップ、雛リース作り、益子焼絵皿作り、ボンボンお雛作り、光る泥団子作り、益子の蜜蝋バーム作り、折り紙遊び(おひな様とコマ) クイズラリーの開催…雛に関するクイズをラリーにすることで回遊を促す 着物着付け体験「きものさんぽ@益子の雛めぐり」: 益子焼のアクセサリと本場結城紬・足利銘仙・真岡木綿・益子流の着物着付け体験をし、益子の雛めぐりを散策してもらった。 町外からの集客のために、幹部がメディアをまわりPRを実施。インスタグラムでターゲット層であるまし子さんというキャラクターを用いて共感を得るように情報を発信した。 【H30年度】前年度の開催状況等を踏まえ、参加者のおもてなしの充実を図るとともに、誘客につなげる様々なイベントを開催する予定。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【基本目標】 風土に根ざした産業をつくる 【KPI】 観光客入込数 185万人(H26)→240万人(H31) 【実績値】 186万人(H27)

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	H29年度	H30年度	H31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	益子の雛めぐりの実施	益子の雛めぐりの実施	益子の雛めぐりの実施		益子の雛めぐりの実施
事業費	909,000	909,000	909,000	2,727,000	909,000
市町支出金 (ソフト事業分)	300,000	300,000	300,000	900,000	300,000
うち県交付金	150,000	150,000	150,000	450,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	609,000	609,000	609,000	1,827,000	609,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	観光商工課 タウンプロモーション係
担当者名	菅山幸恵
電話	0285-72-8846
連絡先 FAX	0285-70-1180
E-mail	kankou@town.mashiko.jg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	益子町
事業名	益子町地域通貨運営事業
事業主体の名称	益子町地域通貨運営委員会
代表者の名称	委員長 塚本裕昭
事業主体の所在	益子町益子2030番地 益子町観光商工課内
事業主体の概要	益子町の「地域経済活性化」「地域活動・ボランティア活性化」「コミュニティ活性化」等に寄与する「益子町地域通貨」の本運用に向け、関係機関と協力し、委員会委員の意見を聴取し、試験運用に反映させることを目的としてスタートし、平成29年度から本運用を開始した。 ・設置：平成26年6月27日(検討委員会) ・構成委員：益子町商工会、社会福祉協議会、道の駅まじこ関係、子育て支援指導者、環境ボランティア団体、ほか益子町役場関係課職員、平成29年4月1日から運営委員会となった。
当該事業に係る地域の現状と課題	近年、町の政策等により、官民協働や市民活動が打ち出されているが、現状として、ボランティア活動など法定通貨では評価されにくい。また、町内外に大型店舗が進出し、町内の小売店の売り上げは落ちる一方である。特に、「栃木県市町村民経済計算」によると、平成14年度には720億円あった町内総生産は、大企業の撤退した平成22年度には408億円にまで落ち込んだ。東日本大震災後減少していた観光客数は、陶器市をはじめとするイベント等の開催により観光客数は回復してきているが、平成25年度の町内総生産は506億円にとどまっているため、商工業者は非常に厳しい環境から抜け出せない状況である。また人口減少についても、生産年齢人口である20歳代～30歳代の転出超過が顕著である。このため、人口減少に歯止めをかけ、いかにして地域経済、地域・ボランティア活動、コミュニティの活性化を図るかが課題である。
事業目的	「地域経済活性化」「地域活動・ボランティア活性化」「コミュニティ活性化」等を図る。
事業概要	【第1期～第2期試験運用(H26.10-H29.3末)】 第1期(H26.10-27.9)は、通貨の名称・単位・デザインが決定し、発行先、および利用店舗の募集を開始し、78店舗が加盟店となった。H26.10月から広報紙等による制度の周知を開始すると同時に、ボランティア活動や、資源物回収を実施している自治会等への配布を開始した。 第2期(H27.10-29.3)は、上記の取組を継続するほか、H28年10月には、18歳未満の子を持つ世帯に対し、子ども1人あたり1万円分の地域通貨を配付し、子育て支援事業として実施した。また、個人や商店間での流通の促進のために、地域通貨取扱店のほり旗を作成し、配布した。また、地域通貨による納税、地域活性化ファンド等、新たな活用方法についての検討をきたした。検討委員会では、地域通貨事業全体のうち、通貨概要の検討・決定、通貨の印刷・発行、PR等を通じた利用促進等の業務を担当し、通貨の換金業務については町商工会が担当することで実施した。 【H29.4本格的運用】 H29.4月以降は「検討委員会」から「運営委員会」となり、地域通貨の本格運用となる。今年度は、さらなる目的推進のため、下記の内容を実施する。 ①民間循環の促進のため、個人でも地域通貨を購入できるようにする。 ②利用店舗の加入拡大 ③地域活動推進のため、自治会や各種団体で購入できるようにするほか、地域通貨を社会福祉協議会へ寄付できるようにする。 ④子育て支援として、子育て応援手当を32年度まで地域通貨で配布する。 【H30年度】 前年度の取り組み状況を踏まえ、引き続き地域経済活性化、地域活動・ボランティア活性化、コミュニティ活性化を図るためのツールとなるよう、実施していく。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	(基本目標)幸せを感じる暮らしをつくる、社会的に自立した人を育てる (成果指標)「幸せな暮らしと感じる人」の割合：H26年度9%→H31年度78%、H32年度80%【H27実績90.8%】 (KPI)人口の社会動態：H26年度△24人→H31年度±0人【H28実績△125人】 (成果指標)「地域・社会活動をする人」の割合：H26年度56.4%→H31年度64%【H27実績54.9%】

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①名称等の決定 ②発行先の選定、利用店舗の募集 ③地域通貨の発行 ④町民への周知 ⑤流通促進の仕組み構築 ⑥新たな活用方法についての検討	①民間循環の促進 ②利用店舗の拡大 ③地域通貨の発行 ④町民へ利用方法の周知 ⑤新たな活用方法についての検討 ⑥寄付の実施	①民間循環の促進 ②利用店舗の拡大 ③地域通貨の発行 ④町民へ利用方法の周知 ⑤新たな活用方法についての検討 ⑥寄付の実施		①民間循環の促進 ②利用店舗の拡大 ③地域通貨の発行 ④町民へ利用方法の周知 ⑤新たな活用方法についての検討 ⑥寄付の実施
事業費	1,841,090	1,071,000	1,071,000	3,983,090	1,071,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,841,086	1,071,000	1,071,000	3,983,086	1,071,000
うち県交付金	916,043	510,999	510,999	1,938,041	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	4	0	0	4	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	産業建設部観光商工課商工係
担当者名	櫻井紀子
電話	0285-72-8845
FAX	0285-70-1180
E-mail	kankou@town.mashiko.lg.jp